

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準について

退職給与引当金 …… 期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：千円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
貸付信託	27,700		4,500	23,200
定期預金	17,300	4,500		21,800
小 計	45,000	4,500	4,500	45,000
特定資産				
退職給与引当預金	2,202	1,600		3,802
小 計	2,202	1,600		3,802
合 計	47,202	6,100	4,500	48,802

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：千円)

科 目	当期末残高	(うち指定正 味財産からの 充当額)	(うち一般正 味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する金額)
基本財産				
貸付信託	23,200			
定期預金	21,800			
小 計	45,000	0	0	0
特定資産				
退職給与引当預金	3,802		1,600	
小 計	2,202	0	1,600	0
合 計	47,202	0	0	0